

有機藻類JAS

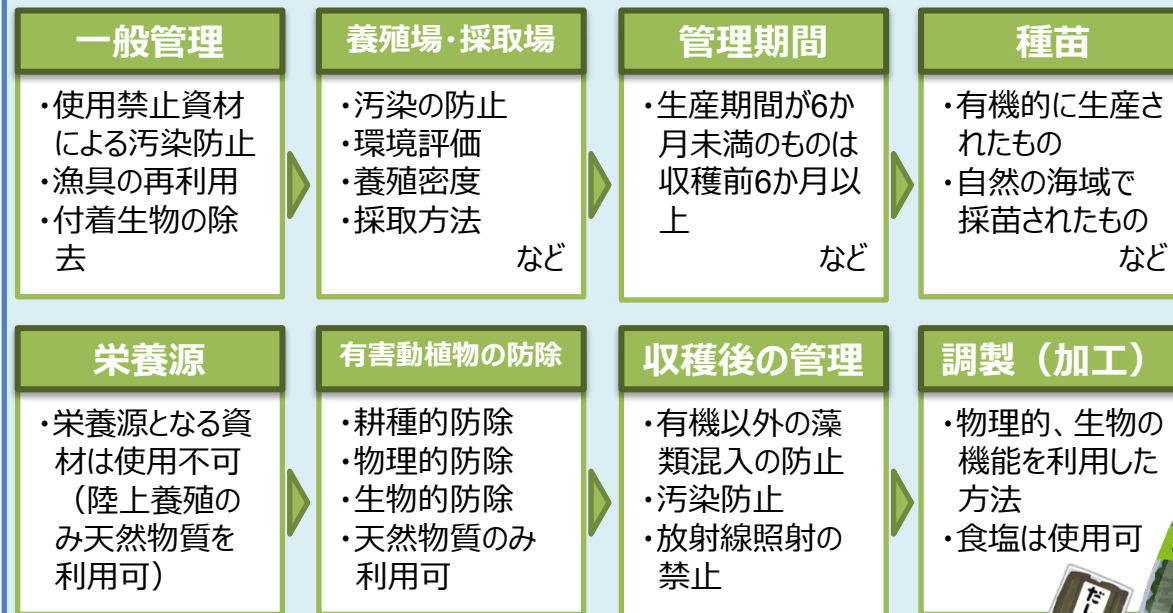
- 消費者の環境意識の世界的な高まりを受け、「有機」の需要が世界的に拡大。
- 藻類の生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した管理方法等について規格化することにより、次の効果が期待。
 - ① 国内における有機藻類の認証取得が容易となり、有機生産の取組の進展と輸出拡大に寄与。
 - ② 日本の有機藻類をアピールし、JASの影響力を高めるため、将来的にJASの国際規格化も視野。
 - ③ 環境に配慮した管理を構築し、持続可能な漁業に貢献（SDGs目標12,14）。

規格等の内容

- 藻類（わかめ、こんぶ等）の生産基準について、次のような項目について基準を規定。
 - 養殖場・採取場
 - 管理期間
 - 種苗
 - 栄養源 など
- 表示基準



生産基準



表示基準

- ・生鮮食品に分類される有機藻類の名称の表示
- ・加工食品に分類される有機藻類の名称と原材料名の表示

表示例

- ・「有機藻類」
- ・「〇〇（有機）」
- ・「オーガニック〇〇」 など

